

令和6年10月15日 第2回 事業運営検討会

日時 令和6年10月15日(火曜日)10:00~11:30

場所 一般財団法人 GovTech 東京 イベントスペース

出席者

【委員】

福田 巖 東京都デジタルサービス局  
2030戦略担当部長(こどもDX推進担当部長兼務)

土田 文紹 一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長

保泉 正憲 板橋区子ども家庭部保育運営課長

米内山 桂 調布市子ども生活部保育課長

小池 義則 一般社団法人こどもDX推進協会 代表理事

小林 弘一 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 保育部会 常任委員

土橋 一智 一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長

諏訪 佳子 板橋区立かないくぼ保育園園長

沢井 範子 足立区立伊興保育園園長

佐合井 純 調布市立富士見保育園園長

栗原 正明 こども家庭庁成育局 保育政策課長

【オブザーバー】

飯嶋 威夫 内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官

【関係事業者】

デロイトトーマツコンサルティング合同会社  
BABY JOB 株式会社  
株式会社コドモン  
千株式会社  
ユニファ株式会社  
日本ソフト開発株式会社

【事務局】

竹内 智美 東京都デジタルサービス局デジタル戦略部 こども DX 推進担当課長 以下担当  
亀割 岳彦 一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部本部長補佐 以下担当

## 次第1. 開会・出席者紹介

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 委員の皆様は画面をオンにさせていただいて、それ以外の随行の方は画面オフをお願いいたします。また、発言時以外はマイクをミュートにさせていただきますようお願いいたします。本日事務局からの説明後に質疑と意見交換の時間を設けております。オンラインでご参加の委員皆様ご発言の際には挙手ボタンを押していただくようお願いいたします。司会の方より順に指名させていただきます。なお本会議は録画し、後日関係者のみに、事情確認のために限定配信いたしますのであらかじめご了承ください。それではこれより次第に沿って進めさせていただきます。委員の皆様お揃いのおようですので、第2回事業運営検討会を開催いたします。これよりご覧の次第に沿って進めさせていただきます。本日までご出席いただいている委員およびオブザーバーの皆様、関係者の皆様をご紹介させていただきます。出席者の一覧に沿ってご紹介させていただきます。

東京都デジタルサービス局2030戦略担当部長(こどもDX推進担当部長兼務)福田 徹委員でございます。

一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長 土田 文紹委員でございます。

板橋区子ども家庭部保育運営課長 保泉正憲委員でございます。

足立区子ども家庭部保育・入園課長 柳瀬晴夫委員でございます。

調布市子ども生活部保育課長 米内山 桂委員でございます。

一般社団法人こどもDX推進協会代表理事 小池 義則委員でございます。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 保育部会 常任委員 小林 弘一委員でございます。

一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長 土橋 一智委員でございます。

板橋区立 かないくぼ保育園園長 諏訪 佳子委員でございます。

足立区立 伊興保育園園長 沢井 範子委員でございます。

調布市立 富士見保育園園長 佐合井 純委員でございます。

こども家庭庁成育局 保育政策課長 栗原 正明委員でございます。

オブザーバーとしてご参加いただきます、内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官 飯嶋 威夫様でございます。

続きまして、関係の事業者様をご紹介させていただきます。大変恐れ入りますが私から社名のみご紹介させていただき、役職名とお名前につきましては、出席一覧の方で代えさせていただきます。

保活連携基盤の事業者としてデロイトトーマツコンサルティング合同会社様、

一般保活システム事業者として BABY JOB 株式会社様、株式会社コドモン様の2社、

保育 ICT 事業者として、千株式会社様、ユニファ株式会社様、日本ソフト開発株式会社様、民間保活システム事業者と兼任になります、株式会社コドモン様の4社にご参加いただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次第の2、保活ワンストップシステムについて、に移らせていただきます。現在スケ

ジュール通りにシステム開発が進んでおりまして、10月末のリリースに向けて最終のテスト段階に入っております。本日は GovTech 東京の亀割より、開発中のシステムについてご説明いたします。

## 次第2. 保活ワンストップシステムについて

○ 亀割 デジタル戦略本部本部長補佐 皆さんおはようございます。GovTech 東京の亀割と申します。いつもお世話になります。10月31日のリリースを予定しております本システムにつきまして、私の方からご説明・ご紹介申し上げたいと思います。

改めてとなりますが、本システムは、保護者が利用する民間保活システムと、右側の保育園の運営等に職員の方が使う保育 ICT、こちらをつなぐ真ん中の保活情報連携基盤により、各システムが API を通じて連携し、データや機能を提供するシステムでございます。画面資料は保活ワンストップシステムのイメージとして、前回お示ししました緑の部分に、今回赤色の部分を加えています。右上の保育 ICT の画面から、施設情報・見学予約システム、こういうかたちで名付けました。このシステムを立ち上げると、赤色の初期メニューの画面が立ち上がります。また保護者の保育施設見学予約申請、左から入力をしていただきますと、赤い矢印をたどって、保育園が通常使っております保育 ICT システムへ通知が届きます。この後、機能ごとの詳細説明をしていきます。本システムの開発にあたりましては、7月12日のキックオフから10月31日のリリースという大変短い開発期間であった、ということもあり、salesforce の標準機能を中心としまして、ローコード・ノーコードで必要最小限の開発を行うこと、それから保守性が高く拡張性のあるシステムを構築していくということを主眼に置いてまいりました。またセキュリティ担保のために、API 連携でやりとりする個人情報は、必要最小限としております。

まず機能の一つ目、保育施設を検索するシステムです。データのセットアップから情報更新に関しましては右半分をご覧ください。まず丸1番、リリース前に GovTech 東京にて、ここdeサーチのデータをエクスポートしまして、本開発の連携基盤へデロイト社さんにてインポートしております。次に右下の方に丸2番があります。インポートされた情報を、保育施設側で、ただいま更新作業をしていただいているところです。基本情報の更新と、付加情報の登録などを行っていただいております。その情報に関しては、丸3番、自治体の承認が必要となっていきます。丸4番で、実際に承認がされましたら、丸5番で施設情報のデータの更新がされるといった流れとなっております。ここdeサーチの情報更新とは異なりまして、自治体の承認後は、東京都の校了は不要となります。また、図の左側、保護者の方は、民間保活システムを利用しまして、真ん中にある保育園の施設情報を確認することができます。保活情報連携基盤に一元化するデータとしましては、施設情報と付加情報ということになります。一番下に月次空き枠情報とありますが、毎月最新の保育園の空き情報が確認でき、4月分ですと、新年度当初申請分ということで対象となりますので、便利な機能だと思えます。

次は保育園の見学予約申請と承認に関する機能です。画面資料の右側上段の方をご覧ください

さい。まず、各保育園において、それぞれの見学予約可能な日時と上限人数をあらかじめ枠の登録をしておきます。この情報が API 連携で民間保活にデータ連携されます。(画面資料の)左側ですね。保護者は民間保活システムから、希望する保育園の施設見学を申請することができます。保育園は、申請の承認・不承認の通知を返すということになります。画面は使いやすいようにカレンダー表示で確認操作ができるようにしております。画面が小さくて申し訳ないのですが、この後のデモンストレーションでご覧いただきたいと思います。また保護者は、見学予約の情報を、民間保活システムのマイページ等で常に状況を確認することができます。

最後に手続情報を検索する機能となります。検索、あるいは施設見学を行った保育園へ入所しようと考えた際に、先ほどの施設情報の検索から空き状況を確認すると思います。空き状況を確認して手続を行う際に、必要書類、入所の調整指数、保育料などの手続に必要な情報について、合わせて収集することができます。この機能は、保護者が民間保活システムより該当する保育施設の自治体ホームページへダイレクトに遷移し、見たい情報が直接確認できるようになっております。各自治体の保育施設の総合案内ページや、入園案内へダイレクトにリンクする当該年度と新年度の2か年分の情報を確認することができます。こちらの情報については、自治体が保活情報連携基盤の方へ登録をしていただく形となっております。さらに実際に入所申請を行う際には、民間保活システムから各自治体の入所に関する電子申請システム掲載の該当ページへ URL でリンクします。施設情報・入所に関する手続き等の情報の照会が終わりましたら、入所申請の方へダイレクトにリンクするものもこちらの方にあります。では実際どのようなシステムなのか、民間保活システムにつきましては、画面イメージの資料で、施設情報・見学予約システムについては、デモンストレーションによりご覧いただきたいと思います。

まず、民間保活システムの画面イメージの方からご紹介していきたいと思います。ユーザーとなる保護者が使う、入口となる大切なインターフェースとなる部分です。今回はホイシルとえんさがそっ♪の2つのシステムと連携します。それぞれインターネットのブラウザにつながるもので、誰でも利用し、ユーザー登録することができます。現在開発テスト中であるためまだデモとして動きをお見せできるものではありませんが、画面資料でイメージを持っていただければと思っております。まずは株式会社コドモンさんのホイシルです。画面の左側、保育施設情報の検索画面となります。様々な条件から検索することができます。検索結果は右側の画面のように一覧表示されます。見たい施設の右下にある詳細を見るというボタンを押しますと、画面の左側3番の施設情報のページが表示されます。施設ごとに先ほどご説明申し上げました基本情報や付加情報がこちらに表示されます。さらに下の青で囲ってある部分ですが、手続き情報へのリンク、それからさらに一番右下には、園見学を申請するといったボタンがあります。ここで園見学の予約をするというボタンを押していただきますと、右側の見学予約の申請によるホーム画面が表示されます。ここで保護者は必要事項を入力していただいて、任意で保育園への連絡事項を記載することができます。事前に保育園にお伝えしたいことなどをテキストで入力をして合わせて送ることができる、といった機能です。また、予約申請日時は、事前に保育園で登録した予約枠数の範囲内となっております。従いまして見学予約枠を入力していない日時で

すとか、予約が枠数を超えていた場合は申請ができないようになっています。もし、保育園に直接、このシステムを使わずに電話での予約の申し込みがあった際は、システムの方の予約枠数を減らすといった入力機能もついておりますが、基本的には見学予約に関しましては民間保活サイトの方から予約をお願いしますといった案内をするような運用を考えております。見学予約の申請をいたしますと、これはホイシルのマイページで左側、保活ワンストップマイページの方に遷移をします。ここでは保護者が見学予約に関する情報を確認することができます。申請中で承認待ちの状態から承認されたのかなどのステータスをはじめとしまして、見学予約希望日、また保育園側から保護者への連絡事項等のメッセージが返信コメントとして表示されます。この情報に関しましてはマイページ以外にも右側の画面にあります通りメール送信もされる予定です。このメールを開いていただきますとこちらの方から保活ワンストップマイページの方に遷移できる形となります。

次に、BABY JOB 株式会社さんのえんさがそっ♪です。実際の画面によるイメージとなります。保育園を検索していただきまして施設を選択しますと、その施設情報を閲覧することができます。さらには施設見学の申請から手続き情報の検索までを行うことができまして、基本的な流れは先ほどのホイシルさんと同様となります。民間保活システムの説明は以上となります。この段階でコドモンさん、BABY JOB さんからコメントや補足等がございましたら、ご発言の方よろしくをお願いします。まずコドモンさんの方から何か補足やコメント等ございますでしょうか。

○ **星加（株式会社コドモン）** コドモンの星加でございます。今回のプロジェクトでは、弊社が GovTech 東京様のもとで民間保活システムのホイシルと、保育 ICT システムのコドモンの連携開発を担当させていただいております。今回機能面で言いますと、元々弊社ホイシルのサービスでは、施設の検索機能であったり、園への施設見学の申し込みをできる機能を有してはいましたが、そこを保活情報連携基盤から取得した情報をベースに施設の情報を表示するということであったり、元々施設様の方で、ホイシルをご利用いただいていた、この基盤側にはない情報なども設定していただいたり記載していただいているところがございますのでそこは可能な限り残しつつ、基盤の情報をうまく連携してご利用いただくところを想定しておりますので、これまでもホイシルを使っていた方、施設様としても今回の保活ワンストップが使えるようになるし、逆に保活ワンストップを契機にして、このホイシルを使われたお客様がさらに施設情報を付加していただくことで、よりこの保活というものに対しての価値向上みたいなことができるのかなというふうに考えております。ありがとうございました。

○ **亀割 デジタル戦略本部本部長補佐** ありがとうございます。それでは BABY JOB さんの方から何か補足コメント等ございますでしょうか？

○ **加納（BABY JOB 株式会社）** ありがとうございます。BABY JOB 株式会社の加納と

申します。お願いします。えんさがそっ♪の方ではこちらに表示していただいた通り、検索を地図上から選択、もしくはテキスト入力で検索をして見学申し込みをするといったかたちになっています。今回の保活ワンストップサービスを利用することによってワンストップで予約情報が保育園側にも送れるかと思しますので、送られた後にそれが止まらないようにユーザーに通知メールを送信して、保育施設で予約申請が承認がされたら、承認通知メールが来て、ユーザーがそれらをトリガーに動くようなことができるような機能も追加しています。キャプチャーにはないですけどホイシルと同じように氏名ですとか、あと入所希望日ですとか、その辺りの重要な項目の入力画面ですとか、あとはマイページのようなところから予約状況の確認などができるような機能も揃えているので、ワンストップで十分なサービスを提供できるかなと思っております。以上です。

○ 亀割 デジタル戦略本部本部長補佐 ありがとうございます。それでは、次に保活情報連携基盤の先ほどご説明申し上げた施設情報見学予約システムにつきましてデモンストレーションを開発ベンダーであるデロイトトーマツコンサルティングより紹介いたします。

(デロイトトーマツコンサルティング合同会社より実機投影にて説明)

○ 亀割 デジタル戦略本部本部長補佐 続いて、保活ワンストップシステムの最後の項番になります、ユーザビリティテストの結果についてご報告申し上げたいと思います。保活ワンストップシステムの品質確保を目的としましてユーザビリティテストを東京都とGovTech 東京において実施いたしました。まずこちらのページをご覧いただきたいのですが、民間保活システムのテストについてです。二つのシステムにつきまして、コードモンさんとBABY JOB さんにご支援ご協力いただきまして、検証用の環境において 10 月 11 日に実施をいたしました。テスターは実際のユーザーとなる保護者を想定しまして、保活経験のある小学 3 年生以下の子供がいる東京都の職員の方に協力いただいて実施をしました。事務局からテスターに対しまして、まずタスクに記載の一連の操作を行っていただき、操作の様子をモニタリングしながら終了後にインタビューを行ったという内容です。インタビュー後半は、一連の操作を行った印象を 5 段階で評価をいただきます。項番の 2 番目 3 番目は、施設情報を検索してみて感じたこと、4、5、6 は見学予約の申請、結果確認、キャンセルに関して感じたこと、それから 7 番目はユーザーの設備情報を見る操作について、8 番目は、自治体などの入所申請のページを整理する操作を行ってもらいまして、それぞれ感じたこと、気づくことをお伝えいただきました。テストの結果 8 名にテストいただいたのですが、5 段階評価で 3 以上、いわゆる当たり前品質を満たしていた結果となりました。平均しますと約 3.9 ポイントです。テスターからの意見や感想につきましては、現在取りまとめ中でございます。後日、委員の皆様には報告させていただく予定です。また民間保活システムの事業者さんとも結果を共有いたしまして、今後の対応方針等も検討していく予定でございます。

次に、施設情報見学予約システムのテストについてです。テスターは保育施設の職員の方としまして、本検討会の委員でいらっしゃいます先生方 5 名にご協力いただきました。ありがとうございました。テストはテスターに対しましてタスクに記載の一覧の操作を行っていただき、終了後のインタビュー形式になっております。このインタビューの質問項目として項番の1番目は全体を通じての 5 段階評価、2 番目につきましては、ホーム画面について、項番の 3 から 9 は見学予約に関して、施設情報の確認ですとか承認見送りの操作、予約枠の設定などについて評価をいただく。項目 10 から 14 につきましては、施設情報に関して基本情報の編集ですとか自治体への承認依頼にそれぞれ評価のご意見をいただきました。テストの結果、5 名全ての方々から 5 段階評価で 3 以上の評価をいただきました。こちらも当たり前品質を満たしているという結果となるところに、平均いたしますと 4.2 ポイントということになりました。主な意見と対応方針について簡単にご説明申し上げます。項番の1番目です。全体を通して文字が小さい、見学予約申請情報のフォント字体が読みにくい、とのご意見をいただきました。見づらさ、文字の小ささに起因があると思われます。こちらの方は技術的に改善できる可能性はありますが、少々お時間がかかるため、リリースまでの対応は難しいのですが、今後の対応策として検討してまいりたいと思います。次に項番の 2 番目です。見学予約申請時に、見学申請にあたっての連絡事項と見学実施にあたっての連絡事項といった文言の違いがわかりにくい、といったご意見をいただきました。こちらは、これから見学予約をしようとする保護者へのメッセージ、と、共有事項と見学予約を承認した保護者への来園に当たってのメッセージ、という名称に変更をいたします。項番の 3 から 5 です。3 番は見学予約申請の保護者から、申し送りについて、文字色を変えた方がよい。4 番、見学や 9 月のカレンダー表示は残り枠数ではなく、現在の予約数も表示した方がいい。5 番目です。システム外の電話等の予約のメモ欄に関する要望、改良ができないところですが、こちら3、4、5ともに対応済みでございます。項番の 6 番目です。施設情報を編集しまして実際に変更依頼を出す操作をより簡便にしてほしいというご意見いただきましたので、こちら対応策を検討中でございます。関連しまして項番 8 番になりますが、実際の変更依頼について申請するタイミングがわかるように画面上で示してほしい、といったご意見、こちら画面上の説明を詳しくするという検討をして参ります。項番の 9 です。見学予約の件数について月別、年度別などで累計できるとよい、というご意見、こちら対応策検討中でございます。それから最後 10 番目ですが、施設情報についてそもそも自治体の資料で確認することができる項目数も多すぎるのではないかとご意見もいただきました。こちらの項目はですね TYPES の事業要件に基づいてということと、おそらく共通の事項を共通のフォーマットで確認できるといったようなところにメリットがあると思っております。いただいたご意見は、現場意見として国へ報告する際に付してまいりたいと思います。以上がユーザビリティテストの取りまとめ結果でございます。長くなりまして申し訳ございません。説明は以上です。

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 ありがとうございます。GovTech 東京 亀割よりシステ

ムのご説明をさせていただきましたが、ここで施設情報見学予約システムのユーザーテストのテスターとなっていた委員の先生方から一言ずつ、ご感想などをいただければと思います。恐れ入りますが、私の方から順にご指名させていただきますので、ご発言をお願いいたします。まず足立区伊興保育園の園長沢井委員、いかがでしょうか。

○ **沢井 委員(足立区立伊興保育園園長)** 足立区伊興保育園の沢井です。テストのときにもお話した通り、大体のことはその場で理解できたのかなと思うのですが、わかりにくかったところについては、2 回目で主任と行って見たところ、やっぱり 1 回目は初めてで緊張したのですが、2 回目になったらとてもわかりやすく進みやすかったと思います。あとご質問させていただいた点についてもご説明を受けたら、よくわかったので、わかりにくいところは特にはないと感じました。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。東京都社会福祉協議会小林委員いかがでしょうか。

○ **小林 委員(社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 保育部会 常任委員)** 小林です。モニター参加させていただいて、少々最初は不安なところがありましたけど思ったより、画面の操作としてはわかりやすかったかなというふうに思います。私と ICT 担当職員で受けたのですが、ICT 担当職員はそういったところに明るいので比較的サクサク操作できていたように思います。2 点だけ、個別の予約申請の情報の画面の表示ですけど、保護者から保育施設への申し送りの内容の部分で、申し送りは色を変えるといいのではないかという話が出ていたことと、それと、見学予約申請に対する承認見送りの操作をしてみて、カレンダーは見やすいのですが、少々予約番号がわかりにくかったというのがありました。あと残りの枠数もなんですけど、入っている予約の件数もわかると、よりわかりやすいのではないかという感想をいただきました。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。続いて調布市立富士見保育園佐合井委員、いかがでしょうか。

○ **佐合井 委員(調布市立富士見保育園園長)** 富士見保育園の佐合井です。操作体験させていただいて感じたのが、見学予約枠とシステム外予約の部分ですね。ここではメモが改行できた方がいいなどは感じました。先ほどのご説明の中で、電話で見学予約をいただいた場合も基本的には、こちらの保活ワンストップの機能で見学予約を登録する、といった説明があったと思うのですが、メモが改行できると、何件か電話で受けた情報を手入力できるかなと思いました。あと、施設情報の承認依頼ですが、変更依頼を作成したら、すぐに遷移していると思うのですが、そうでなくて、一旦、次の画面が出て、確認項目は以上の内容でよろしいですか、とい



うような画面が出てから、遷移ができればいいのかなと思いました。以上です。ありがとうございます。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。続きまして板橋区立かないくぼ保育園の諏訪委員いかがでしょうか。

○ **諏訪 委員(板橋区立かないくぼ保育園園長)** かないくぼ保育園の諏訪です。操作体験でわかりやすいところと情報量が多くて、改善されるという良いと感じる部分がありました。一つ目に、予約見学申請のところですが、コメント欄に割と大事なことが保護者の方から入ってくるので、コメント欄を見逃さないようにしようと意識するのですが、一番下のところなので、コメント欄にたどり着くまでのスクロールが長いなというところで、意識を持って、コメント欄を見逃さないように見たということが一つです。また保護者の方の入力の項目がとても多いので、質問と答えの区別がつきにくく、文字数も多いので、そこが色分けされていたり、表になっているとわかりやすいなということを感じました。もう一つですが、施設情報の承認依頼についてなんですが、自治体に承認が上がっているかどうかというか確認が確かにできているということが、目で見てわかりやすいようなものがあるといいなと思いました。例えば、承認申請するまでの手順が矢印の横に箇条書きなどにされていって、終わったところから矢印の色が変わっていくなどとすると、最後承認したところの矢印まで色が変わったら、確かに承認できているなというところで、わかりやすいのかなって思いました。また承認申請のマニュアルを見ようとしたときに、マニュアルの情報量がやはり多くて、マニュアルから見つけにくいなというところがありましたので、マニュアルの項目が見つけやすくなるといいなというのを感じました。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** 具体的なご指摘などありがとうございます。わかりやすいビジュアルも含めて、見やすい文言にしていきたいと思います。続きまして東京都民間保育協会土橋委員いかがでしょうか。

○ **土橋 委員(一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長)** 土橋です。お世話になっております。先日はモニターテストありがとうございました。当日申し上げた通りですけれども、まずサイトとしては非常に使いやすいなというふうに思ったところです。先日も申し上げたのですが、保育園園長が対応したりするという実情を考えると文字の大きさとか、色で変えて変更箇所がわかりやすいですとか、そういったことはかなり配慮して作らなくてはいけない部分のかなというふうには感じたところでした。あと、これも当日申しあげましたけどいくつかですね、例えば私達が保護者に使わないような言葉、例えば、不承認とか、意外とそういう強い感じに捉えられてしまうような言葉があったので、そこら辺をもう少し、対保育者として、対応するときの馴染みやすい表現に変えていただければなというふうに思ったところでした。以

上です。

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 土橋委員、ありがとうございました。皆様、ご意見いただきましてどうもありがとうございます。ご意見いただいた事項の対応については、第3回検討会にて対応状況をご報告させていただければと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。次第を進めまして、3.効果検証について、に移らせていただきます。

### 次第3. 効果検証について

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 TYPES では事業の効果検証を行いまして、年度内に国へ報告していくことになっております。参加ユーザーの方や参加保育施設へのアンケート調査等を通じまして、TYPES の事業要件に示されている KPI を計測していきます。アンケート項目の案を作成いたしましたので、本日ご意見を伺いたいと思います。まず、参加ユーザーへのアンケート調査の実施計画について、今ご覧いただいているスライドの通り行っていく予定でございます。今回の TYPES のスケジュールでは、システムのリリースが10月末ということで、保活ピーク時期の8月9月を過ぎております。そのため実際のシステムを使って保活をした方のみを捉えようとするだけでは必要なサンプルの確保が難しい可能性がございますので、これからご説明する実施方法、保護者の方にシステムを体験してもらって評価いただく、という形を考えています。実際にこのシステムを使ったユーザーにつきましては、民間保活システムを通じてアンケートを行うことで補足していくことを考えております。その実施方法の詳細につきましては民間保活システム社様と協議をしていきます。それでは表をご覧くださいまして、まず左側、自治体窓口で行う調査についてですけれども、こちらは入所申請のため窓口に来られた保活中の方を対象に、システムを体験していただいて計測します。右側、水色の方はモニターで行う調査になります。保活経験者または現在保活中の方を対象としまして、システムを体験していただいてアンケートに回答してもらう方法を予定しております。

続きましてアンケート項目案についてご説明いたします。表の黒字部分は、TYPES で提示されているKPIになります。まず保活に関する満足度について、各工程ごとの満足度が70%以上という基本目標値が求められているところです。そこで保活情報収集で70%以上については、Q1の青字が対応しています。Q1保活ワンストップシステムでの保活情報収集について満足度を教えてください、で5段階評価してもらいます。

ここで補足ですが、下の点線で囲んだ箱をご覧ください。満足度70%以上の考え方としましては、全回答者数のうち、5段階評価の3以上と回答した方の割合、としております。

なお、2又は1の評価を付けた方がいた場合には、その回答の理由を聞き取りまして、対応すべき課題であれば検討していく方針です。表に戻りまして、保活情報収集に関して、Q2は深掘りのための質問となっております。欲しかった保活情報は得られましたか、Q3は必要な情報をまとめて得ることができたと感じますか、と質問していきます。

Q4からは施設見学予約に関する設問です。Q4で満足度を聞きまして、Q5では電話予約より

も効率が良かったか、Q6では見学日時の検討などがしやすかったか、Q7では操作がしやすかったかというところを聞いております。続きましてQ8では入所申請に関する満足度になります。今回のスコープでは、保活ワンストップシステムの画面から自治体の入所申請ページへ URL 遷移するという所までが開発範疇でしたので、そこに限定して評価してもらうこととしました。Q9 では、各工程をワンストップでできることについての満足度、Q10 では、これまで聞いた全工程に対する満足度を評価してもらいます。

続きまして、保活にかかる所要時間についても行います。こちらも TYPES で示された KPI に沿った質問になっております。まず各工程の所要時間の合計 15 時間以下という目標値が示されております。この15という数字ですが、TYPES の事務局から、一般社団法人こどもDX推進協会様による調査の結果を参考にして設定された数字というふうに伺っております。当該調査によりますと保護者の保活全体に係る所要時間は約 30 時間で、それを半減するというので、合計 15 時間以下という考え方で目標をとっていると伺っております。ですので、この 15 時間の中には今回の東京都の開発のスコープ外の部分、例えば役所を訪問して相談した時間ですとか、見学自体にかかった時間ですとか、入所申請書を作成した時間なども含まれております。

その下、Q12 から 14 では保活情報収集・施設見学予約・入所申請の各工程の合計が4時間以下になったかどうかを聞いていきます。こちらは、先ほど申し上げたこども DX 推進協会さんの調査では、保活所要時間 30 時間のうち、今回東京都がスコープとした部分については約8時間を要しているという結果がございましたので、その半分ということで、4時間以下を目標として立てています。ですので、ここでは、役所相談や見学自体にかかる時間などは除いて、聞いていきます。続いてQ15 は、全工程についてこのシステムを活用できたか、Q16 では具体の改善をきき、Q17～20 では回答者の属性をお答えいただく形となっています。以上が参加ユーザー向けアンケート項目案です。

続きまして参加保育施設と自治体を対象とした KPI 指標でございます。TYPES で示されている KPI 指標のままに書いておりますが、参加保育施設については、オンライン申請率とオンライン予約の満足度、自治体については入所申請のオンライン申請率、オンライン化に伴う作業時間の削減時間数を記録していくところが必要となります。他に、保育施設や自治体向けに必要なアンケート項目があれば、付加していく予定でございます。以上が効果検証に関する説明です。

#### 次第4.質疑応答・意見交換

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** 東京都・GTT 事務局からの本日の説明は一通り終わらせていただきました。ここからは意見交換の時間とさせていただきます。これまでの内容につきましてご質問や、ご意見ご感想などをいただければご発言いただきたいと思います。発言いただける方は挙手をお願いできますでしょうか。はい、ありがとうございます。で

はこども DX 協会の小池委員お願いいたします。

○ **小池 委員(一般社団法人こども DX 推進協会 代表理事)** こども DX 推進協会の小池でございます。ご丁寧な説明をありがとうございます。いくつか疑問に思ったことがあったのですが、その中でも特に、と思ったところについてご質問させていただきたいと思っています。一つが、例えば自治体向けの施設の情報更新をしていくとか、それと保護者が施設に対して申請をしていくというときに、誰もそれを確認できずに処理が滞るということは結構起こりうるのではないかなというふうに思っています。そうしたときに、例えばその時自分の保育園の状況情報を更新したいと思っているのになかなか承認はされないとか、保護者も申請したのに連絡が来ないみたいなことはありうる中で、一定の監視体制というのが必要になってくるのではないかなと思っています。そのあたりの管理体制は、今回 GTT さんがされるのか、特にそんなものは用意されないのか、そのあたりをお伺いしたいなという点が一つ目です。二つ目については、今回枠の予約管理機能があるということですが、おそらく施設さんによっては枠を管理することができないという施設さんも中にはいらっしゃるのではないかなというふうに思っています。そういったあらかじめ枠が設定されていると、そこを選んで申請するということが成立すると思うんですけど、枠がそもそも設定できないという方は、多分そこは何もされないまま放置されると思うんですね。そうした場合は、全てがオープンになっていてとにかく申し込んでくださいという、そういうフローになっているのか、それとも枠設定がされない限り、申請ができないような状態なのか、そのあたりの状況についてもお伺いしたいなというところで、ご質問させていただきました。

○ **亀割 デジタル戦略本部本部長補佐** 質問ありがとうございます。GovTech 東京亀割です。1 点目につきまして、システムに慣れるまではそういうことが起こりうるかなということもありまして、ダッシュボード画面で、申請中ですけど承認がされていないようなものを常に監視ができるような画面機能もありますので、自治体と、できれば最初のうちは我々も含めてそこを見ながら、適正に運用喚起していくような形をとりたいと考えております。2 点目の枠管理につきましては、開発にあたり様々に議論をいたしました結果、今回参加いただく自治体さんからの総意でもありますので、機能として入れました。枠が入っていなければ民間保活システムから予約することはできないため、業務の効率化につながるものと考えます。利用状況を見て、次年度以降の改善もしくは拡充等に繋げていく予定です。

○ **小池 委員(一般社団法人こども DX 推進協会 代表理事)** ありがとうございます。理解いたしました。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** 東京都民間保育協会 土橋委員お願いいたします。

○ 土橋 委員(一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長) はい、ご説明ありがとうございます。いくつか感じたというか今後伝えていくための確認しておきたいことを質問させていただきます。まず今回コードモンさんと BABY JOB さんのインターフェースを使ってやっていくということですけど、今後これが今事業運営検討会ということなんですけど、今後増えていく可能性があるのかどうかっていうのが一つと、そのシステムには全ての園情報、対象施設になる東京都の全園の全情報が入っているのかっていうのを、確認をさせていただければと思います。またどうしても周知を相当していかないとなかなかうまく運用できないだろうってというのは、小池委員のおっしゃっていたこともすごくよくわかるのですが、例えば園見学の申請が来ましていうときに、プッシュ通知みたいな形でメールが園に来るとか、何らかの画面表示が出るというのはかなり重要になってくると思うので、メール通知の有無は一度確認をさせていただきます。あと、見学前に知りたい情報として、園情報と付加情報あると思うのですが、アレルギーのことはあったんですけど最近保育園でケースが増えている、外国人の、特にハラル食に対応できるかどうか、とか、そういうことまで付加情報の方に入ると、園見学をするべきかやめとこうかっていうところの判断もしやすいのかなというところがあるのでその項目整理や今後それを付加していくことができるのかどうかというところを確認させていただければと思います。

○ 亀割 デジタル戦略本部本部長補佐 ありがとうございます。まず一つ目のご質問の民間保活システム今後の拡充ですが、我々としては来年度も開発するにあたりまして参加自治体も拡充していく予定でございます。民間保活システムについても拡充していきたいという想いはあります。また、東京都の全情報、保育施設情報等が入っているというお話は、先ほどコードモンの星加さんよりお話ありました通り、既存の民間保活システムで動いている施設情報のデータ管理があります。そこに今回我々の保活ワンストップシステムのデータが追加された形になります。そういう意味でいうと、保育施設全体が網羅されていますが、今回の保活ワンストップシステムで整備した情報が検索できるのはまだまだ限られているといった状況になります。それから見学予約の申請がありましたらメールはもちろんですが、メールだと気が付かないというところがありますので、常に保育園の方でお使いになっていらっしゃる保育の ICT システムに通知のマークが表示されるようにしております。これは今回の保育 ICT システム改修の中でそれを行ったということで、普段の業務をやっている中でその画面を見ればわかるようにしていくという予定でございます。それからアレルギー対応については、アレルギー対応の有無に加えまして、今ご指摘いただいたようなお話が備考欄にテキストベースで書けるようになっておりますので、必要に応じて、先ほどのハラル対応といったような部分も備考欄にコメントで記載いただければと思います。

○ 土橋 委員(一般社団法人 東京都民間保育協会 副事務局長) よくわかりましたありがとうございます。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。それでは続きましてこども家庭庁栗原委員お願いいたします。

○ **栗原 委員(こども家庭庁育成局 保育政策課長)** こども家庭庁保育政策課長栗原でございます。ありがとうございます。私の方からは 2 点ありまして、一つは最後の効果検証のところと、あと今までのお話とも絡むのですが、今年度はこの予約まで入ったシステムというか今回開発していただいたものを使うっていうのは、効果検証のところにあった窓口に来られた方を対象にこういうのがありますよとご案内をしてやっていくっていうのが、基本イメージなのかというのを少々確認したいと思います。全体的にはコドモンさんとかのシステムというかアプリから入って行って予約ができるっていうところがあると思うのですが、対象者が前にも議論があった通りで、参加自治体と参加施設数がだいぶ限られた中で、今回のこの事業としてどういうふうにやるかっていうのをもう一度確認をさせていただきたいっていうのが一つです。それからもう一つは、将来的にはその民間の保活アプリから入って行って、来年度はもう少々広げるっていう前提のもとですけれども、民間の保活アプリさんの方でその利用者の登録の際にどういう情報とか、どういう手続きを求められているかっていうのが、少し関心があってお聞きしたいと思います。よく私どもの行政の手続きだとやっぱり入口で審査とは言わないですけれども本人の確認とかいろいろやるところがあると思うのですが、今現在民間の保活アプリとか様々なアプリの利用の際に、どの程度の情報をご本人から求めているのかなっていうのに少し興味があります。以上 2 点を教えていただければと思います。よろしく願いします。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。1点目の効果検証について窓口にいっちゃった方に体験いただく実施方法につきましては、本来は実際に保活ワンストップシステムを利用して保活をした方に効果測定を行うというのが理想的ではありますが、それだけですと少々サンプルが足りないかもしれないというところではあります。自治体の窓口にいっちゃった保活中の方を確実に捉えて体験をしていただき、システムとしての評価をしていただくやり方を取るのが1つ。それとは別に、民間保活システムを通じて保活ワンストップシステムで実際に予約をした方に対して、使い勝手がどうだったかというアンケートを行っていかうと思っております。2点目につきましては、民間保活システムの利用者登録というところでよろしかったでしょうか。コドモン様と BABY JOB 様の方からその件について、簡単にご発言いただいてもよろしいでしょうか。ではまずコドモン様の方からお願いできますでしょうか。

○ **星加 (株式会社コドモン)** はい、承知いたしました。コドモン星加でございます。現在ですね、ホイシルの方では会員登録の際に必須としているのは氏名とログインに使うメールアドレスっていうところ、また利用の目的っていうところですね。ホイシルのサービス自体が就職支

援のサービスを持っているものですから、そちらの用途なのか、保活の用途なのかってところだけを必須にしている、あと任意の項目として性別、保護者様の生年月日、電話番号、住所みたいなどころ、あとは入園予定のお子様の生年月日みたいなものも取得するような形になっております。今ご説明したものに関しては任意で、ということですね。今回保活ワンストップのプロジェクトにおきましては予約申請の方で必須になる項目がありますのでそちらに関してはユーザー情報として登録するのではなく申請のタイミングで入力いただくという形になっています。可能なものに関しては自動で転記がかかるような形っていうのもご用意しているところでございます。以上でございます。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。BABY JOB 様の方はいかがでしょうか。

○ **加納 (BABY JOB 株式会社) BABY JOB の加納**です。よろしくお願いします。今の質問は項目数が多すぎて、少々申請に手間取るというところがあるのかなと予想しました。BABY JOB 側えんさがそつ♪では、姓名、メールアドレス、電話番号と基本情報とあと子供の生年月日のところですね。あと入園希望日とあと見学希望日時、あとは詳細の何か申し送り事項があれば入力する程度でございます。いくつかの項目はユーザーを作るときに入力していれば自動で入力されますので、あまりユーザーが一つの園に見学するときにはたくさんの項目を入れないといけなくて、そこで少々諦めてしまうようなことはないかなと思っております。以上です。

○ **栗原 委員(こども家庭庁育成局 保育政策課長)** こども家庭庁の栗原です。ありがとうございました。後段の部分、よくわかりました。情報量、ユーザビリティというか使いやすさと合わせて、すごく簡単に登録できるので、何かトラブルもあるかもしれないなど、役人的に思ってしまったので、その辺りでどういう情報を捉えているのかという確認をしたかった次第でした。前段の部分は民間保活システムからも情報を集めるし、あとは窓口で実際にインタビュー確認をして情報集めるっていう 2 段階でやるというご回答だったと理解しておりますけどそれでよろしかったですか。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** 2パターンで、民間保活システムを通じたアンケート調査と、それとは別に、窓口に来られた方に体験していただいて効果測定をします。

○ **栗原 委員(こども家庭庁育成局 保育政策課長)** はい、ありがとうございます。

(足立区 柳瀬委員 退出)

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。その他ご意見いただける方いらっしゃるでしょうか。自治体の各委員にもご意見伺ってよろしいでしょうか。この間非常に密に連携させて頂きまして、保育施設向けの操作研修なども行ってきております。ありがとうございます。では板橋区の保泉委員から一言いただけますでしょうか。

○ **保泉 委員(板橋区子ども家庭部 保育運営課長)** 板橋区の保泉です。いつもお世話になり、ありがとうございます。第 1 回のときもお話させていただきましたけれども、我々としてはやはりこの利便性の向上を保護者の方に実現することと、保育士さんの負担軽減の両立を図ることが大きな目的の一つであるとも考えております。そういうことで意見が出されたものに対して、対応していただいているということについては非常に感謝しているところであります。引き続き我々もできることはご協力させていただきますのでどうぞよろしくします。本日はありがとうございます。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。引き続き連携させてください。よろしく願いいたします。それでは調布市の米内山委員お願いできますでしょうか。

○ **米内山 委員(調布市子ども生活部 保育課長)** お世話になっております。米内山です。調布市でもデモをしていただいて、施設側からはやり方についてはわかりやすかったということで話を伺っております。引き続き施設側が非常に使い勝手がいいようなものになっていければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。オブザーバー参加いただいている飯嶋様、お願いできますでしょうか。

○ **飯嶋 オブザーバー(内閣官房デジタル行財政改革会議事務局 参事官)** ご説明ありがとうございました。この短い期間でシステムリリースまで進めていただいた皆様のご尽力に感謝申し上げます。また、デモにご参加いただいた自治体の皆様への皆様のご協力にも、心から感謝申し上げたいと思います。ご説明いただいた効果検証に関して少しコメントさせていただければと思います。この TYPES の募集の際に、本日ご提示いただいた満足度と時間という二つの KPI を設定させていただきました。この保活ワンストップの目的自体が、元々はその保護者の方々の情報収集や見学予約に対する負担を軽減して、お子さんと向き合える時間を作っていくところを目的にしておりましたので、この時間という KPI はすごく大事なものだと思っているのですが、やはり個人差があると思うので、現実的には、時間を取るのはすごく難しい話だろうなと思っています。象徴的にこのプロジェクトの意義を対外的に説明するという意味では、難しいとは思いますが、時間をこれだけ短縮できた、ということをごどのように示していけるか、今後ぜひ工夫をしていただければと思っています。また、このプロジェクトを



しっかり回していく、ブラッシュアップするという意味では満足度の調査がすごく大事になるかと思っています。いただいたところだと、満足度 2、1 の評価がついたところについて、16 の設問で具体的に改善すべき点を聞くということになっているので、この設問で、どこに満足できない点があるかということ把握できれば、それでいいとは思いますが、各項目の中で満足度が低いときには必ず答えていただく形の方が、ちゃんと取れるのかなという気もしました。そこはすいませんが、一度ご検討いただければと思っています。その関係で、ユーザビリティテストのところ、8 名のモニターの方にご参加いただいてご協力いただいたと書いてありまして、そこで十分なフィードバックが取れていれば、特に申し上げることはないですけれども、もう少し取る必要があるのであれば、(効果測定で)モニターの方にだけでも、ユーザビリティの部分もアンケートをされると良いのかなと思います。現状のユーザビリティテストでどの程度のフィードバックが来ているか次第かと思いますが、よりブラッシュアップする必要があるれば、それもご検討いただければと思います。以上です。

○ **竹内 こども DX 推進担当課長** ありがとうございます。それではお時間も近づいてまいりましたので、東京都 福田委員と GovTech 東京 土田委員、皆様のご意見を踏まえまして、一言ずつお願いいたします。

○ **福田 委員(東京都デジタルサービス局 こども DX 推進担当部長)** 東京都デジタルサービス局の福田でございます。本日も皆様貴重なご意見いただきまして誠にありがとうございました。また、かなり厳しい日程の中、システム開発にご協力いただきまして、こちらにつきましても重ねて御礼を申し上げます。いよいよ、今月末サービスインということで予定をしているところでございます。保育園の皆様、それから保護者の皆様、自治体それから民間保活ベンダー皆様、多様な関係者がいる難しいプロジェクトでございます。しっかりと、本日いただきましたご意見も含めて、皆様のご意見にもしっかり対応して、このプロジェクトをより良いシステムの構築に向けて進めていきたいというふうに思っているところでございます。引き続き、皆様のご協力よろしくお願いできればと思います。

○ **土田 委員(一般財団法人 GovTech 東京 デジタル戦略本部 デジタル戦略本部長)**

GovTech 東京デジタル戦略本部長の土田でございます。本日はありがとうございました、本日いよいよシステムリリース目前となる第 2 回ということで、GovTech 東京をはじめ、担当メンバーからも、限られた期間の中で様々困難があったと聞いておりますが、関係者の皆様にもご協力いただきまして、おかげさまでシステム開発も順調に進んでいるということです。今回の検討会では、システムのサービス画面やユーザビリティテストの結果など、より具体的なイメージが伝わってきたのかなと思います。またユーザーテストに参加された皆様からおおむね好評をいただいたのかとは思いますが、やはり実際に使ってみてこそその改善点なども、いくつかが指摘いただいたかと思っておりますので、これらの対応に向けても検討できればと思って

おります。今後はそれらを踏まえながら月末のシステムリリースを着実に実行することはもとより、次の段階として、本システム導入した効果をどのように検証していくかについて、改めて皆様のご協力やサポートをいただきながら検討を進めていきたいと思っております。より良いシステム導入に向けまして引き続きよろしく願いいたします。以上でございます。

#### 次第 5.閉会

○ 竹内 こども DX 推進担当課長 ありがとうございます。意見交換を終了いたします。以上で本日の議事は全て終了となりました。長時間にわたりご参加いただきありがとうございます。次回の事業運営検討会につきましては開催時期が近づきましたら事務局よりご連絡いたしますので引き続きよろしくお願いいたします。

これをもちまして、保活ワンストッププロジェクト第 2 回事業運営検討会を閉会いたします。皆様ありがとうございました。なお、本日の議事は事務局にて内容の確認をさせていただいた後、録画の限定配信 URL とともに、皆様にメールでお送りする予定です。確認いただき、御了承をいただいた上で公開させていただきます。ご連絡は以上になります。本日はありがとうございました。